

新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

名 称	第15回 第4分科会会議事録	場 所	新宿区役所第一分庁舎7階 研修室
日 時	平成18年1月27日（金） 午後6時30分～午後8時30分	記録者	学生補助員 宮野英理子、三好加奈子
		区担当	企画政策課 熊澤

出席者：34名

（区民委員：28名 学識委員：3名 区職員：3名 傍聴：0名）

■配布資料

- ・第15回第4分科会会議進行次
- ・区民会議参加の皆さんへ（佐藤委員からの提案）
- ・中間発表会WG第3回まとめ
- ・中間発表会に向けた役割分担
- ・新宿区民会議 第2回全体会（中間発表会）の開催について（新宿区長より）
- ・第4分科会中間発表会報告内容

■会議内容

[発言者]●：区民委員 ◎：学識委員 ○：区職員

1、開会

○：皆さん、こんばんは。少し遅れてしまいましたが、これから第15回第4分科会の会議を始めたいと思います。最初に資料の確認をさせていただきたいと思います。①本日の進行次第、②「区民会議参加の皆さんへ」という佐藤委員からのご提案、③「中間発表会WG（第3回）の報告会」、④「新宿区民会議第2回全体会（中間発表会）の開催について」、⑤新宿区民会議委員の皆様へ、⑥「中間発表会に向けた役割分担」の以上6種の資料が、お手元にあると思います。もし不備がございましたら、こちらまでご連絡ください。それでは、会議の次第に沿って、進めて行きたいところなのですが、これまで私が進行させていただいておりました。この分科会の初回から申し上げておりますが、この会議はみなさんの会議ですので、そろそろみなさんで会議を進めていただきたいと思います。第4分科会には小宮さんという中間発表会WGのリーダーもいらっしゃいますので、小宮委員に会議進行をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

では、小宮さん、よろしくお願いいたします。

●（小宮）：どうもみなさん、こんにちは。今回から私が、会議進行をさせていただきます。はじめに、佐藤委員からのご提案があります。どうぞ佐藤委員、宜しくお願いいたします。

2、本日の議事

(1) 委員からの提案（佐藤委員）

- (佐藤)：先日、班長会議にご提案いたしました。私は、「私たちの改革の願いを末永く遂行させたい」ということを提案させていただきたいと思います。私の考えは、配付の用紙の上半分に書かれているようなことで、読んでいただければ、分かっていたと思います。私が区長さんと区民が対話する色々な行政のイベントに出ていまして、その中で色々提案してまいりましたが、そのとき区長さんより、「大変よいものだ。」「参考にさせていただきます。」という言葉は何度もいただいているのですが、区長さんが区役所に持ち帰っても、なかなか実行されないのではと思います。区民の声はよく聞きましたというのは、よく分かるのですが、そうではなく、きちんと実行してほしいと思いますし、今の行政の体制では難しいと思います。これまで区民会議で議論した貴重なものを11月30日で終わるのは非常に残念に思いますので、その後、続けてチェック機構のようなものを作りたいという提案です。中身については色々議論があると思いますので、ここに書いてあるのは私の私案ですが、できるだけ早く確認させていただきたいと思い、提案いたしました。以上です。
- (小宮)：ありがとうございました。今のご提案に関して意見がありましたら、どうぞ。
- (犬塚)：要旨は理解いたしました。それで、質問です。ここでいわれているのは監視チェック組織の設立についてですが、その根拠づけについてお聞きしたいと思います。私たち区民会議は区長から委嘱を受けて、その枠の中でその根拠をもとに話し合いをしておりますが、そのチェック組織の根拠はどこに求めるのか。その正当性についてですね。次に何をチェックするのか。例えば私たちが提案したものは基本構想なり基本計画への提言という形で、審議会か何かでしかるべき審査をうけて、法的なものも受けた上で作成されると思うのですが、この組織は進行管理をチェックするのでしょうか。それともそうではない意味合いのチェック機構なのでしょうか。その辺りのことについて、よく理解する必要があるのではないかと思います。この2点についてご質問を申し上げます。
- (佐藤)：私の考えは、協働といわれるように区民は区長と対等の考えでありまして、ただ職務が違うだけであると思うのです。区民会議が終わった時、我々が区民の組織としてこういうものを作って区に関わりたいということをお区长さんをお願いをしたならば、区長さんは区民の声を聞きたいとおっしゃっているのですから、それはよくないということにはならないと思います。区長さんにいえば、これをもとに、こういうふうにしましょうと行って下さると思います。この用紙の内容はあくまで私案ですので、今後3名の世話役を選び、全体をまとめていただくような形にさせていただきたいと思います。以上です。お分かりでしょうか。
- (犬塚)：提案については、どうすれば実現できるか考えていきたいと思ひますし、そのために何が課題となり、どういったことを解決してあらかじめしておかなければならないかということについてご質問を申し上げているのですが、区長さんが区民の意見を聞いてみたいという発意があつて、それに対してどう意見を述べるかというところにあると思うのですが、今の区の制度ではいくつかのそのような組織があるわけですね、それと、今ここで提案されているものはどこがどう違うのか、またはどこがどのように合わさっているのかを含めて、きちんと説明

できるようにしておかないと、いろいろと突っ込まれる可能性もありますし、文句も出ると思います。この話ですと、区民会議が終わった後、区民会議全員で投票するということですが、区内でいろいろな団体なり組織があって、この新宿区を良くするためにいろいろな活動をなさっているわけです。そこの関係をきちんと整理し、どうするのかを考えていかないと、やはり話しがややこしくなると思います。決して否定しているわけではありません。提案自体はとても良いものだと思いますし、それを前提としたうえで、このようなことを押さえておかないといけないのかなというところで、最初に申し上げたことをいった次第でございます。

- (佐藤)：私の考えでは、先ほどもいいましたように、3人を推薦して、その方たちは目的に沿ってやっていただきたいと思います。今の区の政策は生ぬるいと思います。改革といいつつなにも変わっていないのではないかと思うのです。麻生議員辞職について、私は区政の無駄をなくすために、政務調査費を開示してほしいということをお願いしましたところ、麻生議員の領収書は開示できないということでした。このように内部のチェックというのは甘くなっています。このようなことにより、区民会議でこうした組織を担うことは、区長もご理解いただけると思いますので、提案いたします。他の団体との調整については、(区民会議)解散の前に3名を選び、委嘱後、私たちはこうすることで区長さんと話をしたいということをお約束しておけば、あとで他の団体と折り合いをつけることも可能であると思います。私としましては、このように無償でがんばっているのだから、区のホームページに自分たちのスペースを入れてもらい、色々と議論したいと思います。区政改革に反対という方はいらっしやらないと思いますので、提案いたしました。
- (田中)：佐藤さんの積極的な考えはよいと思います。しかし、区民会議のメンバーの募集要項には区民会議終了後についてのことはありませんので、メンバー全員参加というのは無理があると思います。したがって、佐藤さん個人で、僕はこういうことをやるので賛同してくれというような形でお進めいただきたいと思います。以上です。
- (小宮)：他に何かございますでしょうか。ご意見ありがとうございました。チェック機構の位置づけをどうするとか、チェックをどうするのかなどについてですが、これから各分科会が提案をする段階で、内容もまだよく分かっていないということもありますし、今、区民会議全体に提案していかなくてもよいのではないかなと思います。これから中間発表が終わって、第4分科会の話もありますが、区民会議全体でまとめる報告になっていきますので、そういう時期に至った時に、こういう話は第4分科会としてさせていただきたいと思いますが、今の状態では少し厳しいかなと思います。ご提案、どうもありがとうございました。

では、次に中間報告会の報告に入りたいと思います。簡単にご説明させていただきます。

(2) 中間発表会WG (第3回) の報告 (1/17)

- (小宮)：最初に周知ということですが、広報は1月25日号に区民会議として掲載するということです。資料は今お手元にはありませんが、区民会議として掲載するというのは、区が発行するのですが、書き方としまして、区民会議が皆さんにご案内するという形になっているということです。それから、2月15日号で分科会の発表時間をお知らせするということです。また、

ポスターとチラシができました。数については書いてありますが、既に印刷は終わり、部屋の後ろにあります。これらの活用の仕方ですが、いろいろな配布方法、紹介方法があるかと思いますが、分科会ごとに平均的な枚数をお配りして、それを分科会の中で、恐らく色々な知り合いがいらっしゃると想定して、お持ち帰りになって自分たちで貼ったり配ったりしようではないかということになりましたので、よろしく願いいたします。次に2の意見をいただく方法と公表についてですが、中間発表会当日、ご意見をいただく箱を用意するということは決まっております。カードについては、提出者の対象とする分科会、性別と年齢、居住地域などが分かるものにしましょうということです。これは6分科会と共通の箱、7個の箱に入れていただくということです。また、当日来られない方もいらっしゃると思いますので、中間発表会で配布するレポートを特別出張所に置き、ご意見を頂くということと、もう一つは同じように、区のホームページで区民会議へのご意見、中間発表会へのご意見をいただくという予定になっています。話は変わりますが、当日は色々なご意見があると思いますが、基本的には個々の意見や回答はいたしません。どうするかといいますと、多い意見につきましては、まとめて区のホームページ等で公表するというような形を取りたいと思います。それから役割分担ですが、細かいことは省略いたしますが、WGの①や②などが各分科会の数字になります。会場のレイアウト設計については、第4と第5が責任をもってやりましょうというような書き方になっております。ご覧いただければわかっていただけたと思います。これにつきましては以上とさせていただきます。5番になりますが、今後のスケジュールということで書いてありますが、実は先ほど申し上げました、会場レイアウト設計のために立川さん、石塚さん、遠藤さん、萩野さん、鍋島さんの5人の方が、1月の23日に牛込笹笹地域センターに行って、もう既にこうしようではないかという絵ができていく状況になっています。簡単ですが、WG第3回のまとめということでご報告させていただきました。何かご質問等ございましたら、お願いいたします。

それでは、次に進めさせていただきますと思います。

(3) 班長会議報告(1/20)等

- (小宮)：班長会議報告ということで1月20日に行われました班長会議について報告をいたします。その前に班長会議への提言ということで、芳賀さんからご提案があります。

・班長会議への提言

- (芳賀)：環境と美化の芳賀でございます。この期に及んでこういうことをいうのはどうかと思いつつも、こういった見方・考え方もあるということをお伝えしたくて、提言というより質問であったりしますが。まず大テーマとサブテーマについてです。ハード、ソフト、ハートのバランスの取れた環境配慮型都市というのが第4分科会の基本テーマということに位置づいているのですが、私たちの環境美化については私たちのやってきたこととは連続性をまったく感じない。私たちは21世紀は環境重視型社会、人間本位であるとか、環境都市宣言にふさわしい環境というものではこのグループでは意見集約をしているのですが、そういったものをこのテーマは非常に乖離している。ここにあって書くならば、区に

もっと環境に力を入れて欲しい、入れるのだといったニュアンスにして欲しいというのが提言です。多少揚げ足取りですが、ハード、ソフト、ハートというのはそれぞれのバランスということですが、多少何を言っているのか分からない。私たち新宿区は環境にいいとは認識していない。その中でバランス論をいうとどういうことになるのか。ハードもソフトもそこそこでいいのか。ハードもソフトもなくていいのか。なぜこれが第4分科会の最大のキャッチフレーズなのかということに違和感を感じずにはいられない。次にサブテーマもひとつひとつは非常によくできていて耳障りのいいのですが、5つありますね。私たちの環境と美化のグループはそこにあてはまるのか。6つのグループがそれぞれあてはまるようなものがないのではないかと。ひとつ言いたかったのは新宿区まちづくりランドデザインと非常に似ている。あれにすり合わせる必要はまったく無い。私たちは現状から積み重ねているので。最後に、20年後の新宿をイメージしてという共通のテーマだということで前の班長会議で決めたとのことですが、20年後のことなんて分かるはずがない。だから区の基本構想なんて5年ごとにやっているのですから、責任もって見通せても10年。10年でいいじゃないですか。この中でテーマによっては樹木が100年とか、電柱の埋設に50年とか。そういうものはそれでいいが、私たち環境では10年だって分からないという意見です。班長会議でもいってもらったのですが、いまさら仕方ないとのことなので、あえて皆様の前でいいました。以上です。

- (小宮)：ご意見、ご質問がございましたらお願いします。
- (犬塚)：芳賀さんの意見には趣旨を理解しかねました。テーマは10月23日の班長会議で議論を重ねて我々の方に報告されました。特にその場で意見が無かったというのは、皆さんがそれでいこうということになったからであり、なぜ今更こういう話になるのか。20年後も区のほうから20年後の基本構想を描きましょうということで。皆さん納得して集まってやっているのですから、議論の前提条件に対して今、疑問を呈するのも良く分からない。我々は未来を予測するのではなくて、20年後には何をしていけばいいのか論議をつくそうということでしょう。なぜこういう問題の建て方をされるのか分かりません。
- (芳賀)：ご批判をいただいたので申し上げます。まず23日付の決定を前回の会議で渡されて、意見が無いから全員が承認したはずじゃないかということなのですが、その場で見せられてもすぐ頭は回りませんでした。持ち帰って熟読し、次回に備えて色々考える中で、こういう話は事前配付をしてもらえれば。意見をいえたけれども当日配付ではその次のときの会議での発言になってしまう。それから次に、20年後の議論については私たちの議論は基本構想を含めたものだとは思っていません。私もこの場において基本構想という部分はありましたが、私たちの役割は基本構想、基本計画、それから都市マスタープランについて召集されているのだと理解しています。それから10年後、20年後という議論がありましたが、グループのなかで20年後を議論しろということは一言もありませんでした。ですから10年後でもいいじゃないですかと私はいいたいわけで、20年後の方がいいところは20年後をやればいいじゃないですかということをお願いだけです。以上です。

- (小宮)：ありがとうございました。ほかにご意見ございましたらお願いします。
- (吉川)：これ(中間発表会の区民会議のポスターに関して)は、自転車ではだめなのですか。だいたい区民センターというのは自転車で来る人が多いのではないですか。裏側の公園にお話していただければどうか。
- (熊澤)：中間発表会のチラシについてご質問がありました。そこには駐車場がありませんので自動車・自転車等でお越しになるのはご遠慮下さいと書いてあります。今、そばの公園に停めてはどうかというご質問ですが、中間発表会のワーキンググループで、その件についても話し合いがありました。現場をご存知の方はご理解いただけると思うのですが、センター前の駐輪場は狭く、公園にも置けない状況であり、仮に公園に置いた場合の整理についてはどうするのか。その他色々問題が出てきてしまう。立地条件としては地下鉄の牛込神楽坂駅から歩いてすぐのところですので、区内から来られる方がほとんどでしょうから、交通手段についてはご了承いただくということで落ち着きました。
- (吉川)：分かりました。
- (小宮)：話を戻したいのですが、芳賀さんのご意見について何かございましたらお願いいたします。
- (犬塚)：芳賀さんがなぜ今のような問題を提議されるのか、ぱっと出てすぐによく噛み砕いて自分たちのものとして理解するには時間が足りなくて、やはりひっかかってしまっているということで、話しているというのは理解ができます。ただ、今この時点でそういった問題提起をされたところで、中間発表までもう一息というところで、その問題提起をどうやって受け止めたらいいか、というところを考えてしまう。中間発表を今のような枠組みで終えた後に、また修正、調整をしていって、第4分科会としてまとめていくのであれば理解もできる。先ほど言った二つ目の2025年を対象にした話では私たちが6月の18日に集まったときに区民会議の基本構想・基本計画という話の中で2025年を対象にすることが決まっていた。基本計画は10年後、都市マスは何年後、と決まっていて、私たちはそれを受け止めた上で、区民会議として、そして新宿区民として議論を進めていると思っています。以上です。
- (小宮)：時間も迫っているので、2つお話をさせていただきます。
班長会議では、各班をまとめる話をするようになっていきます。2月19日で時間がないということもありますが、第4分科会としてまだまだ班長会議を通じて各班で検討した色々な内容を決めていかななくてはならないことがありますので、よろしければ班長会議の方にもご参加いただいて、議論していただければと思います。もう一つ、資料を配付するのが遅いと言う点につきましては、そのとおりだと思います。31日に班長会議がありますのでよろしければ芳賀さんにもお越しいただき、ご発言いただきたいと思います。このときに皆さんが検討できるように、情報提供の仕方を検討しようと思いますが、いかがでしょうか。

- (芳賀) : 私は意見を申し上げたのでそれで結構ですから、また、班長会議に出て意見を開陳する必要はありません。
- (小宮) : それでは次のテーマに進みたいのですが何かございますか。
- (田中) : 私も芳賀さんと同じ意見です。班長になった人も大変ですが、こういうハード・ソフト・ハートの3つのバランスのとれた環境配慮型都市というのは真剣に考えると、皆が戸惑いを感じていると思います。特に環境問題に関しては、環境以外の点に配慮しながら、環境に配慮するという流れの中で、新宿区の環境都市宣言以来10年間、新宿区の環境は改善していないという歴史的事実がありますから、その点だけ申し上げておきます。終わりです。
- (小宮) : ご意見をいただきたいところなのですが、時間がないので次に移らせていただきます。班長会議の報告ということで、よろしく願いいたします。
・報告
- (渡辺) : 渡辺でございます。1月20日の班長会議の報告をいたします。以前のように各班の進捗状況について報告し合った後、2月の中間発表会を第4分科会としてどのように進めていくかについて話し合いました。その案が皆さんのお手元にあると思いますので、それについてのご意見を後ほど伺います。それから各班から当日配布する資料として5ページずつ提出していただきました。それを神野さんにパワーポイントで発表するようにまとめていただきました。それは後ほど神野さんからご報告いただけたと思います。それから役割分担なのですが、お手元の第4分科会役割分担という資料をご覧くださいと思います。そこに書いてある分科会としての総括は小宮さん、それを補助するのが石塚さん、受付が上林さんと渡辺、発表者としてパワーポイントで発表用資料を作成していただくのが神野さん、それから実際に操作するのに補助が必要な場合は板本さん。それからブースの内容検討、レイアウトと書いてありますが、そこには山田さんと加藤さんの2名しか載っていませんが、やはり各班から1名ずつ出ていただいた方がいいのではないかとということになっております。それから交流・意見集約の対応方法ですが、これは各班から1人は残っていないと対応ができないので、そのようにお願いします。意見集約の分類のところは遠藤さんと小宮さん、記録作成はそこに書いてある通りですが、一応、班長会議としては以上のようになっていますが、ここは私がやりたいとか、ここはあの委員の方がいいのではないかとというようなご意見がございましたら、この場でおっしゃっていただきたいと思います。いかがでしょうか。そのほかこういう役割もあつた方がいいのではないかとのご意見もございましたらおっしゃってください。この案のとおりでよろしいでしょうか。それではご意見がでないようですので、当日この役割分担でやらせていただきたいと思ます。
- (小宮) : 少し補足させていただきますが、今のなかで各班適宜ですとか、各班1人ですとか、

もう少しきちんとしておいた方がいいということがありましたら、そのことについては31日の次回班長会議でもう少しスムーズにいくようにしたいと思います。続きまして、(4)の中間発表に向けた各班の会議というところですが、実は今までご議論いただいた各班の内容を班長会議に持ち寄って、全体をまとめるとどうなるだろうということで案を作っていました。ここで神野さんからご説明いただきたいと思います。そして、今日できれば少し時間をとって内容を検討していただきたい。31日の班長会議では第4分科会の発表用の資料をある程度形作らないと中間発表会に間に合わなくなってしまうので、今日ご議論いただき、31日に持ち寄っていただくことにしたいと思います。

- (神野)：環境教育学習班の神野です。なぜこのような経緯になったかということから。ご説明させていただきます。先週、班長会議がありました。その際に各班でまとめられた資料を持ち寄りました。いろいろ議論がされたわけなのですが、その時に、何とかまとめなくてはならないということになり、誰かがたたき台を作ろうということになりました。その意見が出たのがちょうど一週間前で、金曜日に何かたたき台作ることになりました。その時に集まってきた資料も、まとめきっている班もそうでない班もありますが、2月19日にまとめなくてはいけないので、たたき台を作るということで、私が担当することとなりました。そのときに集まった資料で私が作りましたが、各班の意見を理解し、精査した上で作ったものではありません。あくまでもたたき台ですので、そのときに出ていた資料を合わせて、皆さんでこうやって直していこう、という議論の基になるためのものです。ですから、かなり異論もあるかと思いますが、たたき台ですので、後ほど精査していただいて、次の段階に向けて修正していきたいと思います。次回の分科会では皆さんの意見をまとめるということでない、発表できなくなってしまう。これから作成した全体の概要を発表したいと思いますが、あくまでも私が個人で作ったものでございますので、ご意見はあると思いますが、まずは流れの方を確認していただきたいと思います。

(以降発表用資料(案)の説明)

- (小宮)：神野さん、どうもありがとうございました。では各班で内容を検討していただきたいと思います。31日の班長会に間に合うように、ご意見を班長さんに述べていただきたいと思います。ではグループで検討をお願いします。

(4) 中間発表会に向けた第4分科会での整理

- (小宮)：本日ご議論いただいた内容は、31日に班長さんの方で意見をお持ち下さいますようお願いいたします。

3、連絡事項

(1) 次回以降の会議日程について

- (小宮)：それでは、連絡事項ということで、次回以降の会議日程なのですが、お手元の進行次第をご覧ください。第16回が2月11日土曜日となっておりますが、都合で日程を変更しており

ます。2月10日金曜日の18:30～20:30に、変更をお願いしたいと思います。会議の場所につきましても、とりあえず大丈夫だろうということになっております。

(以下、進行次第記述より抜粋)

第16回 2月10日(金) 18:30～20:30 区役所第1分庁舎 7階研修室
第17回 2月24日(金) 18:30～20:30 調整中
第18回 3月10日(金) 18:30～20:30 区役所第1分庁舎 7階研修室
第19回 3月25日(土) 13:30～15:30 区役所第1分庁舎 7階研修室

(2) 中間発表会参加者 概数の把握

- (小宮)：中間発表会の参加者ですが、会場のレイアウトについても考えていく都合上、ここに書いてありますよう、当日お越しいただく人数、託児希望、手話希望、車椅子ご利用の数がわかれば、31日の班長会議で、班長さんからご連絡いただきたいと思います。

(3) 次回班長会議日程について

- (小宮)：次回の班長会議の日程ですが、
1月13日(火) 18:30～20:30 区役所地下1階 交流の場
ということになっております。班長さん、よろしくお願ひいたします。それから先ほども少し出ましたが、班長以外でもご出席いただける方は是非ともお越しいただいて、議論していきたいと思います。班長さんだけということではなく、もし可能であればお越しいただくような方向で進めていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。それでは最後に、熊澤さんにバトタッチさせていただきたいと思います。

4、閉会

- (熊澤)：皆さん、どうもお疲れ様でした。事務局からご案内させていただきます。中間発表会についてですが、WGで、今こちらにありますポスター、それから新宿区民会議中間発表会お知らせのチラシを作成いたしました。できるだけ多くの区民の方、区民会議に関わらない一般の区民の方にもご参加いただくということで、幅広く周知していくために、このパンフレットとチラシを作成いたしました。パンフレットは、公共施設につきましては区のほうで貼るのですが、その他各種団体等の掲示板などにつきましては、(その団体に所属されている場合は)ご自分で貼っていただいて、周知していただきたいと思います。今ここに70部ほどございますので、パンフレットを貼っていただける方、こちらからお持ちになり、お貼りいただければと思います。それから、チラシにつきましては、200部くらいございます。これについては、各種団体の方に配っていただければと考えております。ただし、6つの分科会がありますので、同じ団体にお配りする必要もありませんので、ここに配布一覧表がありますので、チラシをお持ちいただける方は、記載していただいてお配りいただきたいと思います。以上、事務局からのお知らせです。よろしくどうぞお願ひいたします。

新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

- ：町会には区から発送していただけるのでしょうか。
- （熊澤）：はい、区の掲示板につきましては、区で貼るようになっています。漏れなどがありますと貼れませんので、お気づきのときには、お貼りいただけたらと思います。団地につきましては、各棟全てに貼るほどのご用意はありませんが、要所に貼っていただくくらいであれば大丈夫だと思います。チラシ・パンフレット等につきましてご意見・ご質問ある方いらっしゃいましたらどうぞ。なければ、小宮さん、どうぞよろしく願いいたします。
- （小宮）：それでは、今日は全てのスケジュールが終わったと思いますが、何かありますでしょうか。それではどうもご苦労さまでした。終わりにしたいと思います。有難うございました。

以上